

これまでの取組

地区	取組開始年度	主な取組状況
江田	平成28年度	H28.11.20 出前講座
		H30.12.01 役員会での取組説明
		R01.10.05 図上訓練
		R01.11.24 図上訓練結果報告会
		R02.08 「大雨時の避難について」全戸配布
		R02.11.29 まちあるき
		R03.09.15 「大雨時の避難について（更新版）」全戸配布
		R03.11 家屋調査（25軒）
		R03.11.21 避難訓練で避難情報の入手方法等について説明
		R03.12.01 水害履歴調査
		R04.01.25 簡易量水標設置（中手川）
		R04.02.15 まるまち看板設置
		R04.06.09 水害履歴調査
		R04.07.02 役員WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R04.09.04 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
R04.09.11 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）		



令和元年10月 図上訓練



令和2年11月 まちあるき

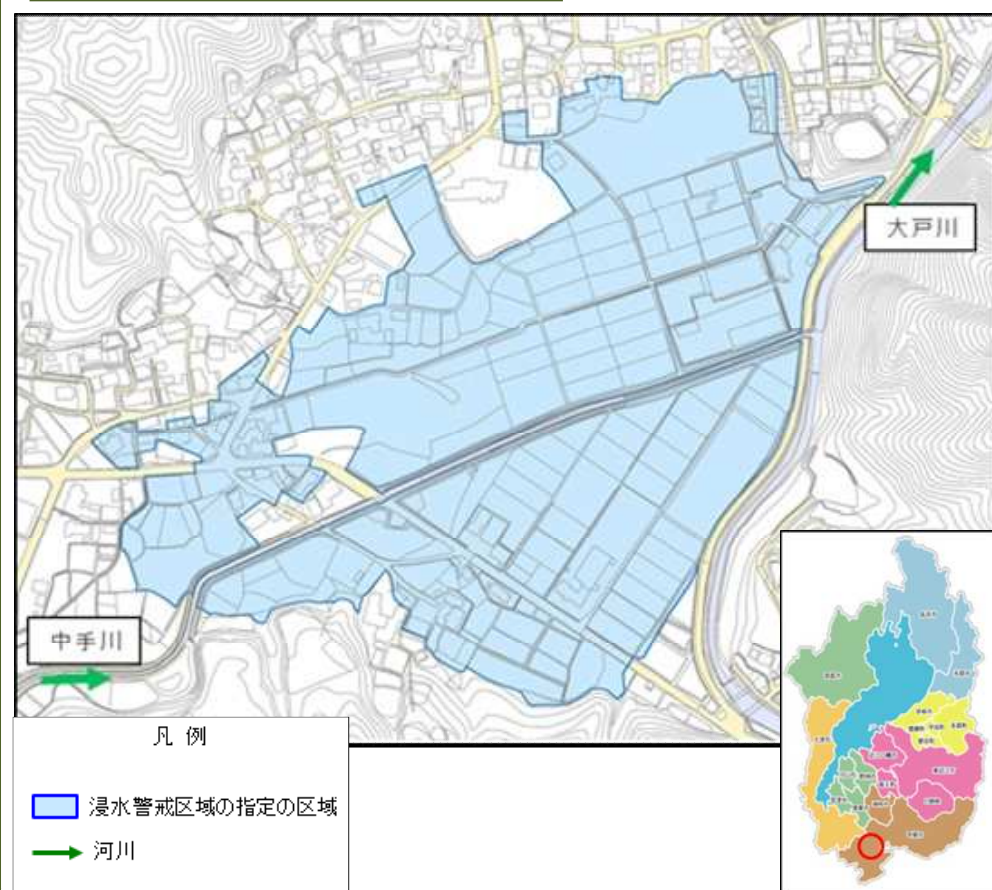


令和3年12月 水害履歴調査

浸水警戒区域指定に係る経緯

～令和3年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、 ■ 想定水位の設定
令和4年度	
R04.07.02	■ 浸水警戒区域の役員説明会
R04.09.04 R04.09.11	■ 浸水警戒区域の住民説明会
R04.09.04 R04.09.11 R04.09.22	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別説明会 09.04：江田福祉会館 09.11：江田自治（本町）会館 09.22：信楽地域市民センター
R04.12.19	■ 第7回瀬田川地域安全協議会
R05.01（予定）	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R05.01（予定）	■ 市長への意見照会
R05.02（予定）	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R05.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示

今回指定を予定している区域



取組を進める中で出た主な意見や質問（⇒質問に対する県の回答）

- 【浸水警戒区域の指定について】
- 浸水警戒区域の範囲（境界）についてどのように設定しているのか。  
⇒ 浸水警戒区域の範囲（境界）については、国土地理院の航空測量地盤高データの数値を基礎資料として、実際と相違がないか現地を確認した上で設定しています。
- 【大戸川・中手川の河川改修や維持管理について】
- 抜本的に浸水リスクを下げるため、大戸川や中手川の改修・維持管理を優先的に実施してほしい。  
⇒ 支川の中手川を抜本的に改修しようとする、まずは本川の大戸川を改修する必要があります。現在大戸川下流（大津市域）で河川改修が進められておりますが、大戸川上流（甲賀市域）においても、河川整備計画へ位置付けた上で、大戸川ダム完成までの間を含めて段階的な整備を行っていきます。また、整備実施区間以外の河川改修着手までに期間を要する上流区間についても、特に浸水警戒区域の対象地区など浸水リスクの高い地区では、定期的な巡視点検の結果や地域からの要望等を踏まえ、緊急性を勘案しながら、護岸補修や土砂の浚渫等の維持管理対策を順次進めていきます。
- 【避難計画について】
- 体が不自由で避難場所に自力で逃げられない方を誰がどのように支援するのか、避難場所や避難方法に関して地域で検討することが重要である。  
⇒ 要支援者の避難については「個別避難計画」の作成等の取組が甲賀市で進められています。県としても、今後も継続して、江田区の皆様や甲賀市と連携し、要支援者の避難に関して取り組んでいきたいと考えています。
- 【排水路の清掃について】
- 農業用排水路の清掃などについては、これまで農家で対応してきたが、農家の減少等により現状十分に清掃できていないことが課題となっている。排水路を適正に維持管理することは、地域全体の浸水リスク低減につながることから、地域住民も含めての対応が必要だと考えている。  
⇒ 地域産業や高齢化の問題を含む難しい課題であるが、甲賀市とも課題を共有しながら、まずはこのようなご意見があったことを江田区民の皆様と共有したいと考えています。



令和4年7月 住民説明会